

令和3年度 幼稚園評価計画並びに評価総括

学校法人斑鳩学苑

領域	評価項目		自己評価 5段階	総合評価 (園として) 5段階	取り組みの状況
教育目標や幼稚園評価	教育目標の理解と認識	園の教育方針や目標について、保護者の理解を促す	3.9	4.1	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園の方針や園務分掌での役割を理解し、全体で協力し合いながらチームで仕事を進めている。 教員一人一人が園の教育目標の達成に向けて頑張る姿が、保護者、地域の理解につながっている。 毎月学年ごとに保育の目標を定め、その目標を達成するための活動を学年便りに載せて、保護者の方にお伝えしている。またホームページでは毎月の様子を掲載し、子どもの様子や園行事について、保護者の方に公開し保護者の理解を深めている。お手紙の配布・れんらくアプリを活用して、保護者の方と情報を共有している
	園からの通信の理解度	メールや園だより園からの配布物・HPで情報を提供する	3.7	3.9	
教育課程・指導内容	特色ある教育活動	英語・スイミング・体育ダンス等の指導や年3回の発表会、運動会での指導を進める	3.9	4.1	<ul style="list-style-type: none"> 英語・スイミング・体育ダンス、歌唱指導の外部専門講師による指導を行っている。年3回の発表会や運動会では本園職員だけでなく外部の専門講師やスタッフを迎え指導を進めている。園全体の取り組みであり達成感を分かち合う場となっている。選曲や指導方法についても振り返り教職員一人のスキルアップにつながるようにしている。
	基礎基本の生きる力	歌や製作・絵本などの指導や遊びを通じ数字から創意工夫する	3.6	3.7	<ul style="list-style-type: none"> 園児一人一人の発達状態や成長などに応じて、楽しく安全に過ごせるように工夫している。 個々の様子をしっかりと観察し、成長に見合った声かけや指導方法を考え取り組んでいる。
	読書活動の推進	読み聞かせの時間の設定や園児の好きな本を読む時間を設け、興味付けをする	3.6	4.1	<ul style="list-style-type: none"> 地域の図書館や図書ボランティア、また担任等の読み聞かせや図書の貸し出しを頻繁に行うことでも季節や環境に応じた図書に触れることができている。大きな行事も園生活の自然な流れの一部として、子どもたちが楽しみながら進んで取り組めている。
	園行事	公的施設の活用し企画内容も創意工夫する。	3.3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議、学年の話し合いの中で指導計画を立てて実践し見直しを行っている。また職員会議では、園の行事や活動など詳しく話し合い理解ができ、充実した保育活動につながっている。
園児への生活指導	お互いのよさを認め合い、協力し合う人間関係	なんでも言い合える人間関係作りをする人権意識を育む	3.6	4.1	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が自分が興味を持った自然の植物や虫また水たまりなどをみつけて遊んだりっこ遊びしたりしている。 困った様子の友達を見つけると、担任や他の職員に相談に来ている。 子ども達はのびのびしていて、周りの友達への優しさが見られる。
	落ち着いた学級作り	決まりや規範意識を指導する	3.6	3.9	<ul style="list-style-type: none"> 園児について、しっかりと見守り教職員間での話し合いを密に行い、共通理解に努め園全体としての指導にあたっている。 職員全員が一人一人の子どもの発達に応じて関わり支援ができていることで、園児の姿に育ちが見られる。できるだけ外遊びの時間を多くとり、それぞれが好きな遊びが集中して取り組めるよう日々の計画を立て、のびのびと元気に安心して過ごせるように配慮している。
健康管理	四つたこさに相談話し合う雰囲気作り	教室内の人間関係の把握につとめる。担任に話せる雰囲気を教室で作る	3.8	3.9	
	健康教育や育の充実	平素の健康管理や給食を通じて食育をする	3.4	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 食育として旬のもの、野菜の種類を知り、栽培や収穫を通じて、食物や食事づくりに関心をもたせ食物の大切さや生産者の方々に感謝の心を育んでいる。 教室に入る前や食事前の手洗いやうがい・手指消毒の指導、a2careスプレーや噴霧器を使用し教室の消毒および感染拡大防止対策を行い教室の衛生環境を強化している。
安全管理	保健衛生への対応	手洗いうがいの励行と歯磨き指導・感染症対策やアレルギー対応の徹底を図る	4.0	4.1	<ul style="list-style-type: none"> バスの安全運行のためのマニュアルを作成した。また園の安全マニュアルに基づき緊急時の対応手順について、AEDやエピペン等の訓練を行い法人全職員で共通理解を行った。
	園生活の安全と登降園の安全	教師が危機管理意識を持ち安全な生活を図る	3.8	4	<ul style="list-style-type: none"> 警察および地域自治体の指導のもと、交通安全対策や不審者侵入時の対応手順についての理解を深める。安全指導計画に基づき保育の中で安全教育を計画的に行っている。 セコム社の録画機能付き防犯カメラでの監視・録画するなどして、防犯体制を整えている。園庭の遊具の安全点検を行っている・園庭にある自然物を工夫して教材や遊びの素材にする。 園児の危機回避能力育成のため避難訓練や交通安全教室など生活の様々な場面で生かせることができるように指導している。
特別支援教育	園児の共通理解	全職員で育てるという共通理解のもと常に情報共有する	3.6	4.1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と密に連携をとり保護者の願いを受け止めると共に必要に応じ専門機関に相談している。特に就学前には特に自治体と相談し小学校での支援についても緊密に連携している。
	個別の指導計画	個々のニーズを確かめながら指導の充実と集団の中で育てる	3.8	3.8	<ul style="list-style-type: none"> 配慮が必要な子どもには個別の支援計画を作成し職員で共有し配慮や指導の方法を検討し園全体で指導している。また実践しては見直しをするなど細かく対応している。
組織運営と研修	組織の機能化	計画的自発的に組織が動く・バランスのとれた研修をする	3.0	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 園務分掌を理解し、全体で協力し合いながら仕事を進め、外部研修に参加し、共通理解や意識を高く持って、質の高い保育につなげるよう活かしている。法人内で専門知識を共有する場面を創出して活発な研修を進めている。
保護者や地域との連携	保護者との連携	連絡帳、電話、家庭訪問、お見舞い等で連絡を密にとる	3.8	3.8	<ul style="list-style-type: none"> 日々の電話連絡や連絡ノート、れんらくアプリを活用して、保護者の方と情報を共有している。
	地域や施設との連携	地域の方とのあいさつや施設との連携を密にとる	3.3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 年長児は、地域の外国人受け入れ団体の留学生との交流を行っている。幼小連絡会を通して、園児の実態等についての情報交換ができると共に卒園児の情報も共有している。
教育環境整備	教育環境の整備	教育内容の定着、意欲向上、興味関心を促す掲示の工夫を図る	3.7	3.8	<ul style="list-style-type: none"> 園児一人一人の発達状態や成長などに応じて声かけや興味付けを行う・英語・スイミング・体育ダンス・歌唱指導等の外部専門講師や元公立小学校教員等のアドバイスを受けながら小学校への系統性を持たせる内容や掲示などを検討するなど将来に向けた教育を目指している。
満足度	本園教育への満足度	自分たちの願いと園児や保護者の願いをつかみ実践する	3.8	4	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園の方針や園務分掌を理解し、全体で協力し合いながら仕事を進め、保護者の願いをつかみながら園児一人一人の様子、成長に見合った声かけや指導方法を考え取り組んでいる。 不易と流行をおさえ園児にどのような力を身につけさせたいか、小学校に向けてどのような姿で卒園させたいかを保護者と相談しながら保育を進める。